

令和6年2月28日

各位

東北大学学術資源研究公開センター
センター長 藤澤 敦
(公印省略)

博物館等の防災の取り組みについてのアンケートについて（依頼）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

東北大学学術資源研究公開センターでは、「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」の東北大学拠点に参加し、災害から歴史文化資料などを保全する取り組みをおこなっています。

近年激しさを増している豪雨災害などの自然災害で、歴史資料等が多数収蔵されている博物館等が被災する事例が続いています。このような被害を避けるために、自然災害の被害を想定したハザードマップなどが、博物館等の防災対策にどのように活用されているかを調査し、今後の活動に活かしていきたいと考えております。

このような趣旨で、別紙のいうように「博物館等の防災の取り組みについてのアンケート」を実施することといたしました。趣旨をご理解いただき、アンケートの回答にご協力いただきますようお願いいたします。

担当者連絡先

担当者氏名：加藤 諭

住所：〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

東北大学学術資源研究公開センター史料館

電話番号：022-217-5040

メールアドレス：desk-tua@grp.tohoku.ac.jp

別紙

博物館等の防災の取り組みについてのアンケートのお願い

東北大学学術資源研究公開センター

東北大学学術資源研究公開センターは、総合学術博物館、史料館、植物園の3施設で構成される、東北大学で蓄積されてきた学術資源を保管・研究・公開する組織です。

東北大学では、国立歴史民俗博物館・神戸大学とともに、「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」を2018～2021年度に実施してきました。東北大学では、災害科学国際研究所を中心に、同事業の東北大学拠点を設置して、この事業に取り組んできました。学術資源研究公開センターは、この東北大学拠点に参加し、「歴史資料保全コーディネーター講座」を担当してきました。この講座は様々な分野の専門家が、東日本大震災などでの保全活動の経験を踏まえ、多様な資料の保全のための知識や技術を解説することで、地域で歴史文化資料の保全活動全体をコーディネートできる人材を養成することを目的に実施してきたものです。今年度からは、この事業の第2期が、2022～2026年度の5カ年の計画で始まりました。学術資源研究公開センターでは、第1期の講座を踏まえ、第2期では歴史資料などの防災に中心をおいて、教育プログラム開発を行う計画です。

近年激しさを増している豪雨災害などの自然災害で、歴史資料が多数収蔵されている博物館等が被災する事例が続いています。このような被害を避けるために、どのような対策を講じるべきか、現状を把握しておくことが必要と思われます。今回のアンケートでは、自然災害の被害を想定したハザードマップなどが、博物館等の防災対策にどのように活用されているかを調査し、今後の教育プログラム開発に活かしていきたいと考えております。

お忙しい中とは存じますが、ご協力をお願いする次第です。回答は、3月22日(金)までにおよせいただきたく、お願いいたします。

なお、本アンケートは各地域の博物館・資料館などの施設に依頼しております。

アンケートの回答方法についてです。

回答は、原則 Google フォームからの回答とさせていただきます。下記 URL、もしくは QR コードより Google フォームを開き、直接記入・送信していただくようお願いいたします。もしくは下記の学術資源研究公開センターHP のリンクから Word ファイルをダウンロード・ご記入いただき、下記担当者までメール添付にて回答(Word ファイルもしくは pdf ファイル)を送付していただいても結構です。不明な点などは、下記までお問合せください。

担当者氏名：加藤諭

住所：〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1

東北大学学術資源研究公開センター史料館

Mail：desk-tua@grp.tohoku.ac.jp

* Google フォーム URL：https://forms.gle/DH7QjLNSym5BWEXe6

* Word ファイル URL：http://www.museum.tohoku.ac.jp/center/others/



Google フォーム用
QR コード